

達成目標及び達成度評価

名古屋工業大学では、以下のような環境目的および目標を設定し、環境に配慮した活動を行っています。2022年度は下記の取り組みを行い、達成度は以下のようになっています。

目的	対象	2022年度目標	具体的取組	2022年度実績と達成度		コロナ禍前2019年度実績と達成度	
エネルギー使用量の削減	電力	前年度比1%以上削減する	人感センサーおよび高効率照明への更新	前年度比0.5%増	×	2019年度比6.8%減	◎
			高効率空調機への更新				
			実験用低温室や恒温室の適切な温度管理				
			ホームページに毎月の電力使用量を公表				
	ガス	前年度比1%以上削減する	高効率空調機への更新	前年度比4.3%減	◎	2019年度比12.8%減	◎
			ホームページに毎月のガス使用量を公表 空調機のフィルター清掃の実施				
省資源	水	前年度比1%以上削減する	漏水管理の徹底 実験機器の使用水量の管理	前年度比1.1%減	◎	2019年度比15.5%減	◎
	紙	前年度比1%以上削減する	両面コピーの励行 電子媒体などの活用によりペーパーレスを徹底	前年度比15.2%減	◎	2019年度比43.9%減	◎
	その他	リユースセンター活用を推進する	再利用システムの策定と学内広報	リサイクルに取り組んだ	◎	リサイクルに取り組んだ	◎
廃棄物の抑制	可燃・不燃	前年度比1%以上削減する	リサイクル推進によるごみ減量 プラスチックごみの資源化を推進 剪定枝類の資源化を推進	前年度比2.7%減	◎	2019年度比22.5%減	◎
	紙類						
	ビン・缶						
	ペットボトル						
	発泡スチロール						
グリーン購入	100%達成する	環境物品などの調達を促すための方針策定	100%購入	◎	100%購入	◎	
環境汚染の防止	化学物質	法律に準じた適正管理	化学薬品管理システムへの入力の徹底	実施した	◎	実施した	◎
	PCB	2027年3月までに処理する	PCB廃棄物の適正な管理 PCB廃棄物処理計画の策定				
	排水	排水基準値以下を維持する	pHモニタによる監視、排水水質検査を実施				
	実験廃液	下水道・大気への放出を抑制する	実験廃液の回収				
環境教育の実施	環境教育を実施する	進級時のガイダンスで環境の取り組みを説明 全構成員に環境報告書を周知	実施した	◎	実施した	◎	
環境コミュニケーションの実施	省エネルギーキャンペーンなどの実施により意識向上を図る	クールビズ、ウォームビズの推進による室内温度の適正化の推進（夏期28℃、冬期19℃） 講義室の節電対策の推進	意識向上を図った	◎	意識向上を図った	◎	
学内美化・安全環境の推進	放置自転車	自転車を放置させない	自転車の整理・整頓を定期的実施	美化・安全環境を推進した	◎	美化・安全環境を推進した	◎
	分煙	学内分煙を推進する	喫煙場所の周知徹底				
	安全環境	学内危険個所の改善を実施する	産業医、衛生管理者等による巡視の実施				
	清掃活動	学内清掃を実施する	学生有志及び職員による清掃活動の実施				

※ 数値は、御器所団地のものを示す。

◎：目標を達成できたもの

○：目標の50%以上を達成したもの

△：前年度程度の実績であったもの

×：目標を下回る実績であったもの

昨年度は大学の教育・研究活動が再開され、前年度比では電力の使用量が0.5%増加しましたが、他の項目では削減目標を達成しました。コロナ禍前の2019年度に比較すると全ての項目で大幅に削減されました。